

いたばしのまちを散歩しながら SDGs を学ぶ
お散歩ボードゲーム

いたばしさんぽ

教員向けガイド

～授業で活用するためのヒント～

目次

[本編]

1) 「いたばしさんぽ」の概要	1
2) 「いたばしさんぽ」の活用シーン	2
3) はじめる前に・準備物について	3
4) 基本の遊び方	4
5) 授業計画の例・進行アナウンス例	5
6) マス・アクションの内容解説	17
7) 「いたばしレンズ」シート・感想シートの活用方法	25
8) 「いたばしさんぽ」SDGsの学習をカスタマイズする方法	26
9) 「いたばしさんぽ」遊び方のアレンジ例	27

[資料編]

- ・ 「いたばしレンズ」シート
- ・ 感想シート

あわせて観たい!

「いたばしさんぽ」 教員向けガイド (動画版)

本ガイドと同じ内容を、動画で紹介しています。板橋区立志村小学校のご協力のもと実施した「いたばしさんぽ」公開型モデル授業を収録し、作成しました。授業で活用されている様子や、指導方法について、ぜひ参考にしてみてください。



板橋区公式 YouTube チャンネル:

<https://youtu.be/NiP6MRSO2A4>



あわせて読みたい!

「いたばしさんぽ」リーフレット

「いたばしさんぽ」リーフレットでは、板橋区内で、SDGsにつながる取組をされている方にご協力いただき、取組の内容をインタビュー形式で紹介しています。「いたばしさんぽ」ボードゲームの内容と関連する取組もありますので、あわせてご覧ください。



板橋区ホームページ:

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/seisakukeiei/promotion/1025922/1050237/index.html>



1) 「いたばしさんぽ」の概要

「いたばしさんぽ」は、盤面に描かれた板橋のまちを散歩しながら、まちで実践されているSDGsの取り組みに気づき、自分ごととして生活にSDGsの考え方を取り入れることを目的としたゲームです。自分が暮らすまちについて視野を広げるとともに、相手とのコミュニケーションを取りながらゲームに取り組むことで、盤面に書かれたマスの言葉やアクションの内容から自分の考えや相手の考えに気づき、プレイヤーがSDGsの考え方に一歩近づくことを期待しています。

■ 「いたばしさんぽ」を通じて得られる学び

- ① 板橋区がどんなまちか、まちの中にどんな取組があるかを知る
- ② まちとSDGsがつながっていることを知る
- ③ 自分以外の人の立場に立って、その人のことを考えてみる

■ 区民の意見をもとに作成されたゲーム

ゲームの盤面は板橋区のまちを地理的に表現したイラストとなっています。区内の小学生や区民のみなさんから「板橋の好きなおところ」や「知っている・実践しているSDGsの取り組み」について意見を集め、盤面のイラストやマスのテキストを作成しました。ゲームを遊ぶことで、「板橋のi(あい)カリキュラム」の4つの重点的な教育課題「2. 郷土愛の育成」にもつながります。

イラストは、板橋区にゆかりのある絵本作家の三浦太郎さんが制作しました。

■ SDGsに関する監修

「いたばしさんぽ」は、SDGsの自治体等での活用について研究している慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教 高木超(たかぎ こすも)先生の監修を受けて作成しています。



絵本作家・イラストレーター
三浦 太郎さん



慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任助教
高木 超さん

2) 「いたばしさんぽ」の活用シーン

「いたばしさんぽ」はSDGsを学ぶゲームであるとともに、相手とコミュニケーションを取りながら楽しい時間を過ごすゲームでもあります。基本的な遊び方がわかれば子ども同士でプレイすることができます。ゲーム時間を調整して、授業時間だけでなく学校生活のさまざまな場面で活用してください。

■ 「いたばしさんぽ」活用シーン

- ・SDGsを学ぶ総合学習の時間に実施
- ・新学期など、クラスのメンバーが仲良くなるきっかけとして実施

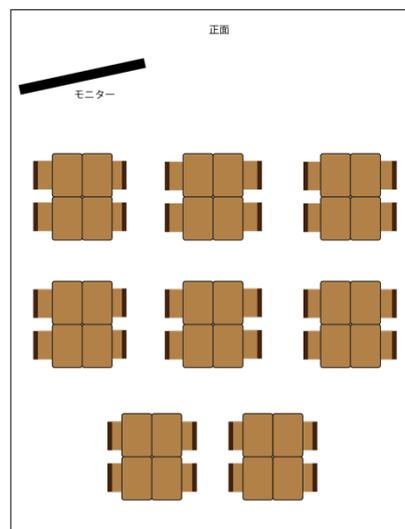
3) はじめる前に・準備について

■ クラスの分け方

基本の遊び方では、3～4人の班をつくります。

教室で実施する場合は、班のメンバーが向かい合わせになるよう机を合わせます。

1班につき、ひとつの盤面を置くことができる広さのテーブルが必要です。可能な限り、机の高さを揃えて配置してください。



準備物

■ 教員がつかうもの

- 教員向けガイド（本冊子）
- モニター
- 授業進行用のスライド ▶区ホームページより

■ 各班で必要なもの

- 1つの班にゲーム1セット
- 「あそびかたブック」
- 筆記用具（各自）
- 「いたばしレンズ」シート（各班1枚） ▶区ホームページより
- 感想シート（人数分） ▶区ホームページより

各ゲームセットの内容

ゲーム1セットには以下のものが含まれています

- ・いたばしさんぼ：1枚
- ・コマ：一人1つ *事前組み立て
- ・サイコロ：1つ *事前組み立て
- ・ポイントシート：1枚



いたばしさんぼ（盤面）：1枚



あそびかたブック：1冊



「いたばしレンズ」シート：1枚



ポイントシート
1枚



コマ



サイコロ

進行用スライド、各種シートのダウンロードは板橋区ホームページから：

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/seisakukeiei/promotion/1025922/1050237/1050999.html>



4) 基本の遊び方

① サイコロを振って、コマを動かす

※サイコロを振る順番はじゃんけんなどで決める

- ・好きなマスにコマを置いてスタートする
(班に分かれて対抗戦をする場合は、チームメンバー全員が同じマスにコマを置く)
- ・順番にサイコロを振る
- ・サイコロで出た目の数、縦か横方向のマスに進む
- ・斜め方向には進めない
- ・ゲーム時間内に1度は「いたばしレンズ」マスに止まる
- ・「いたばしレンズ」マスには、何度止まってもOK

② マスの言葉を読み上げ、アクションに挑戦する

- ・アクションは同じチームの仲間が代わりにやってもよい
- ・挑戦すれば、できなくてもOK

③ ポイントシートに記録する

- ・ポイントシートの、コマが止まった数字と同じ数字の枠(□)にチェックマークをつける
- ・「いたばしレンズ」マスに止まった時は、レンズマークと答えたSDGsのゴールの番号の□にチェックマークをつける

制限時間が終わるまで、①～③を繰り返す

④ 制限時間が来たら、ポイントを数える

- ・ポイントシートの□が3つ並んで埋まったら(縦、横、斜め)1ポイント
- ・勝った人はハイタッチ、他の人は拍手する

5) 授業計画の例・進行アナウンス例

プログラム概要

(95分) 休憩時間含む

～教室の設営・準備～

- | | |
|---------------|-------|
| 1) 趣旨・SDGsの説明 | (10分) |
| 2) 遊び方・ルールの説明 | (10分) |
| 3) ゲームの練習 | (15分) |

～休憩時間(5分)～

- | | |
|-----------------------|-------|
| 4) ゲーム(本番) | (15分) |
| 5) ポイント集計タイム・答え合わせ | (5分) |
| 6) 「いたばしレンズシート」の記入 | (10分) |
| 7) 「いたばしレンズシート」の内容を発表 | (5分) |
| 8) 「感想シート」の記入 | (10分) |
| 9) 「感想シート」の内容を発表 | (5分) |
| 10) まとめ | (5分) |

2時限分

45分×2

+

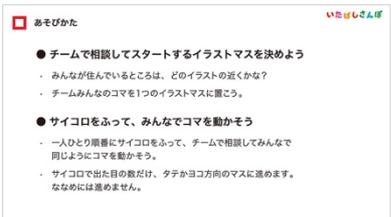
休憩5分

* 時間配分は各学習要素のねらいを達成するための目安です。
現場での実情に合わせて、柔軟に調整してください。

授業：前半（40分）

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
00:00	10	<p>1) 趣旨・SDGsの説明</p> 	<p>・スライドに沿って説明する</p>
		<p>「いたばしさんぽ」ってなに？</p> <p>みんな、「SDGs」って聞いたこと、あるよね。学校で習ったり、テレビで見たりしていると思うけど、まちの中で見つけたことはあるかな？</p> <p>今日は、「いたばしさんぽ」というボードゲームを選んで、みんなが住んでいる板橋のまちをお散歩しながらSDGsについて学びます。</p>	<p>今日は、「いたばしさんぽ」というボードゲームを通して、みんなが住んでいる板橋のまちをお散歩しながらSDGsについて学びます。</p>
		<p>これからすること</p> <p>SDGsとは？・ゲームの目的 あそびかた・ルールを学ぼう ゲーム（練習） ゲーム（本番） ポイント集計タイム 見つけたSDGsを書く・発表する 感想シートを書く・発表する まとめ</p>	<p>これから、まずはみんなでゲームの目的や遊び方を学んで、次に一緒にゲームを遊んで、後に気づきや感想を書いて、共有していきます。</p>
		<p>■SDGsってなんだろう？</p> 	<p>「あそびかたブック」の最初のページを見てください。</p> <p>みんな、「SDGs」って聞いたこと、ありますか？学校でも習ったり、テレビで見たりすることもあると思います。</p> <p>「SDGs」は、日本語では「持続可能な開発目標」という意味です。</p> <p>誰ひとり取り残されることなく、人や生き物が、地球で暮らし続けることができるように、世界のさまざまな問題を解決するために掲げられた目標です。</p> <p>世界のたくさんの国が一緒になり、2030年までに目標を達成しようと決めました。</p> <p>「あそびかたブック」の裏（最後のページ）を見ててください。</p>

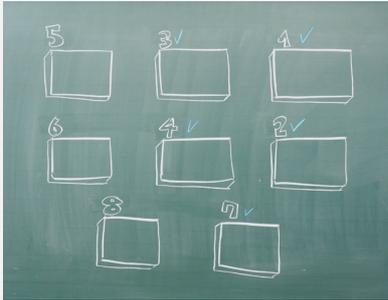
総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>ここに、SDGs の 17 つのゴールが並んでいます。</p> <p>例えば、ゴール 1 のように、経済的に余裕がない人を世界からなくそうといった、人の暮らしにかかわる目標もあれば、ゴール 8 のように、みんなの生活を良くするために安定して仕事ができる社会をつくろうという目標、最後に、ゴール 14 や 15 のように、海や陸を守ろうといった、環境に関わる目標があります。</p>
			<p>今日は、目の前にあるゲームを遊びながら SDGs とまちがどうつながっているかを、みんなで一緒に考えていきたいと思います。</p>
		<p>■ゲームの目的</p> <p>ゲームの目的</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 板橋区がどんなまちか、まちの中にどんな取組があるかを知る ② まちと SDGs がつながっていることを知る ③ 自分以外の人の立場に立って、その人のことを考えてみる 	<p>ゲームを遊ぶことで目指したいことが、3つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①板橋区がどんなまちか、まちの中にどんな取組があるかを知る ②まちと SDGs がつながっていることを知る ③自分以外の人の立場に立って、その人のことを考えてみる
		<p>■盤面を見てみよう</p> 	<p>●絵を見る</p> <p>ボードに描かれている板橋のまちの絵は、絵本作家の三浦太郎さんが描いてくれました。</p> <p>たとえば、中央図書館や荒川の花火大会など、みんなが知っている場所や行事も描かれているかもしれませんね。</p> <p>これらは、街の人から聞いた「板橋のまちの好きなところ」をもとに書いてもらいました。</p> <p>盤面を見てみましょう。知っている場所を見つけられましたか？</p> <p>→見る時間をとる（1～2分）</p>

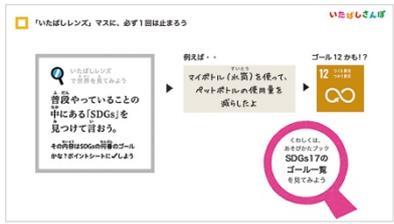
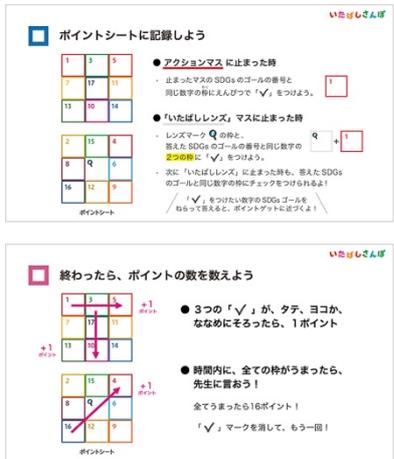
総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>●SDGsのゴールを見る</p> <p>文字が書いてあるマスがありますね。</p> <p>そこに書いてある色の数字は、SDGsのゴールのことをさしています。</p> <p>どんなゴールがあるか、見てみましょう。</p> <p>→読む時間をとる（1～2分）</p>
00:10	10	2) 遊び方・ルールの説明	<p>・スライド・「あそびかたブック」に沿って説明する</p>
			<p>ここからは、「いたばしさんぽ」の遊び方を説明します。あそびかたブックのページを開いて、2ページ目を見てください。</p>
			<p>●まず、3～4人のチームに分かれていますね。</p> <p>●次に、ゲームに必要なものを確認しましょう。</p>
			<p>●次に、ボードには四角がたくさんありますが、これを「マス」と呼びます。マスは3種類あります。</p> <p>① 色の枠と数字が書いてある「アクションマス」</p> <p>② 身近なSDGsを探し、「いたばしレンズ」マス</p> <p>③ 絵が描いてある「イラストマス」</p> <p>（詳しくは後で説明）</p>
			<p>●ゲームは、3種類目の「イラストマス」からスタートします。まず、チームで相談して、どのイラストマスから始めるかを決めます。</p>

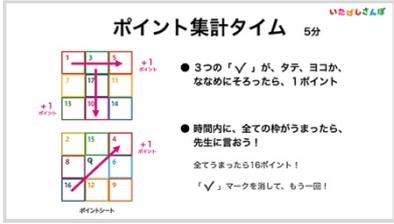
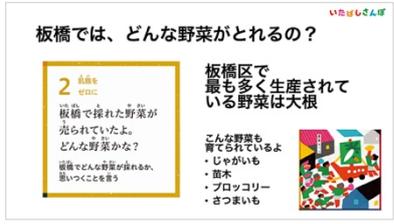
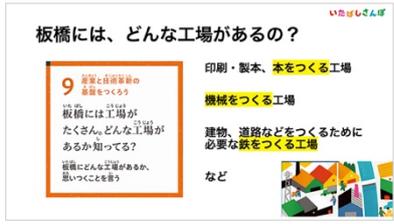
総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>●スタート場所が決まったら、サイコロを振って、みんなでコマを動かしていきます。</p> <p>チームの中で、ひとりひとり順番にサイコロを振って、チームでどこに動かすかを相談しながら、コマを動かしていきます。</p> <p>サイコロで出た目の数だけ、縦か横の方向にコマを動かします。斜めには動けません。</p> <p>それでは、それぞれの種類のマスに止まった時、何をするか見ていきましょう。</p>
		<p>■アクションマスに止まったら、マスの言葉を読んで、アクションに挑戦しよう</p>	<p>コマを動かして、文字と数字が書いているマスに止まったら、まずは「マスの言葉」を読み上げましょう。</p> <p>マスの左上にSDGs目標のゴールの数字が書かれています。マスの言葉は、数字のゴールとつながっているの、どうしてこのゴールなのか、みんなで考えながらやってみましょう。</p> <p>その後、その下の方に書いてある「アクション」も読み上げて、挑戦しましょう。</p> <p>アクションは同じチームの仲間が助けてあげたり、代わりにやったりしても良いので、みんなで協力してやってみましょう。挑戦すれば、できなくても大丈夫です！先に進めて、次の人がサイコロを振る番です。</p>
		<p>■「いたばしレンズ」マスに、必ず1回は止まろう</p>	<p>次に、グレーの「いたばしレンズ」マスに止まった場合どうするかです。</p> <p>ボードにはこのマスが3つあります。</p> <p>各チーム1回は3つのうちどれか1つに止まりましょう。</p>

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>「いたばしレンズ」マスは、アクションマスとは違って、身近な SDGs を探すマスです。でも、「身近な SDGs を探す」ってどういうことでしょうか？</p> <p>例えば、この板橋のまちの写真を見てみましょう。</p> <p>→ 3つの例示を説明する</p>
			<p>では、あそびかたブックの3ページに戻しましょう。</p> <p>「普段やっていることの中にある『SDGs』を言おう」に止まったら、たとえば「水筒を使って、ペットボトルの使用量を減らしたよ。」などと言います。</p> <p>そして、これは使い捨てをやめることなので、つながるゴールは、ゴール12「つくる責任・使う責任」という流れになります。</p> <p>あそびかたブックの4ページに、「SDGs17のゴールの一覧」があるので、見ながらゲームに取り組みましょう。</p>
		<p>■イラストマスに止まったら、アクションはありません</p> 	<p>最後に、文字が書いていない、絵のマスに止まった時は、とくにアクションはありません。次の人がサイコロを振る番です。</p>
		<p>■ポイントシートに記録しよう</p>	<p>様々な色の四角と数字がたくさん並んでいる、「ポイントシート」を見てください。ゲームのポイントの付け方をみていきましょう。</p>

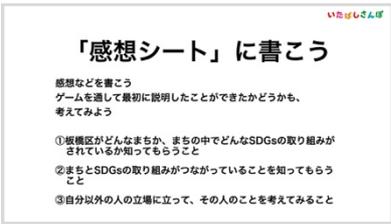
総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
		 <p>ポイントシートに記録しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクションマスに止まった時 <ul style="list-style-type: none"> 止まったマスのSDGsのゴールの番号と同じ数字の枠にえんぴつで「✓」をつけよう。 ●「いたばしレンズ」マスに止まった時 <ul style="list-style-type: none"> レンズマークQの枠と、答えたSDGsのゴールの番号と同じ数字の2つの枠に「✓」をつけよう。 次に「いたばしレンズ」に止まった時も、答えたSDGsのゴールと同じ数字の枠にえんぴつをつけよう。 「✓」をつけたら、ポイントシートに記録しよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●アクションマスに止まった時は、止まったマスの数字と同じ数字の枠にチェックマークをつけてください。 ●「いたばしレンズ」マスに止まった時は、中央のレンズマークの枠と、答えたSDGsのゴールの番号の2つにチェックすることができます。例えば、先ほどの「水筒」の例だと、レンズマークと「12」の枠にチェックをしましょう。チェックは、えんぴつで書いてください。
		 <p>終わったら、ポイントの数を数えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3つの「✓」が、クテ、ヨコか、ななめにそろったら、1ポイント ●期限内に、全ての枠がうまったら、先生に言おう！ ●金でうまったら16ポイント！ ●「✓」マークを消して、もう一回！ 	<p>終わりの合図があったら、自分のチームのポイントを数えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポイントシートに、チェックが縦、横か斜めに3つ並んでいたら1ポイントです。 ●全ての枠がうまったら、16ポイントです。先生に伝えて、チェックマークを消して、またいちからチェックしていきましょう。
		 <p>終わったら、ポイントの数を数えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームごとにポイント数を競います <p>勝ったチームはみんなでハイタッチ！</p> <p>他の人は拍手しましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●チームごとにとったポイントを競います。勝ったチームはハイタッチします。他の人は拍手しましょう。 <p>わからなかったところがある人は手をあげて質問してください。</p> <p>→質問があれば、回答する</p>
00:20	15	<p>2) ゲームの練習</p>  <p>ためしに遊んでみよう！</p> <p>15分間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの進め方を理解するため、15分間ゲームする ・じゃんけんなどでサイコロを振る順番を決める <p>*得点に関係なくプレイする練習時間は、内容をじっくり読んで考える重要な時間ですので、15分間とることを推奨します。</p>
			<p>では、ゲームの遊び方がわかったところで、ゲームに慣れるために15分間やってみましょう。</p>

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>コマを一人1つ選んでください。一人1つですが、みんなで一緒に同じマスを動いていきます。</p> <p>今は練習なので、点数は記録しないでください。</p> <p>サイコロを振る順番を決めてください。 →じゃんけん・誕生日順・出席番号順など順番の決め方を指定する</p> <p>順番は決まりましたか？</p> <p>ゲームスタート！</p> <p>→終了1分前にアナウンスする</p>
00:35	5	<p>休憩</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・盤面を回転し、マスの見え方に変化をつける ・ゲーム本番で点数を記録するものを黒板等に記載出す

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
00:40	15	<p>4) ゲーム（本番）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを適宜おさらいする ・練習とは異なり、ポイントを集計すること、いたばしレンズシートへの暫定記入を説明する ・質問があれば、回答する
		<p>おさらい・説明</p>	<p>次は本番ですので、もう一度おさらいします。</p> <p>まず、みんなコマを一緒に動かします。</p> <p>誰が最初にスタートするかはグループで決めて、イラストマスから始めてください。</p>
		<p>練習とは異なること① レンズマスの回答のメモ</p> 	<p>「いたばしレンズ」マスに止まった時に何を答えたか、「いたばしレンズシート」にメモしてください。</p> <p>ゲームが終わった後に、答えた内容を書いてもらいたいので、何を答えたかを忘れないように、メモしてみてください。</p>
		<p>練習とは異なること② 点数の記録</p> 	<p>次は本番なので、ポイントシートにチェックをしていきましょう。</p> <p>全16点クリアしたら、先生に言いに来てください。黒板で、クリアしたグループにチェックを入れていきます。</p> <p>クリアしたら、ポイントシートのチェックを消して、第2巡目を遊んでください。</p>
		<p>プレイ</p>	<p>では、次は本番。今回も15分です！ ゲームスタート！</p>

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>* プレイ時間は 10 分～15 分の間で適宜調整する</p> <p>→終了 3 分前、1 分前にアナウンス、最後 10 秒はカウントダウンする</p>
00:55	5	5) ポイント集計タイム・ 答え合わせ	<p>・各チーム、ポイントをポイントシートに書く</p>
		 <p>ポイント集計タイム 5分</p> <p>● 3つの「✓」が、タテ、ヨコか、ななめにそろったら、1ポイント</p> <p>● 時間内に、全ての枠がうまったら、先生に言おう！</p> <p>金でうまったら16ポイント！</p> <p>「✓」マークを消して、もう一回！</p> <p>ポイントシート</p>	<p>では、各チームポイントを集計して、ポイントシートに書いてください。1チームから順番に何ポイントだったか教えてください。</p>
		 <p>勝ったチームはみんなでハイタッチ！</p> <p>他の方は拍手しましょう</p>	<p>●チームのポイントが一番多かったですね！●チームの方は立って、ハイタッチしましょう。他の方は拍手しましょう。</p>
		<p>答え合わせ</p>  <p>答え合わせ</p> <p>わかったかな？</p>	<p>・スライドに沿って、マスの解説をする</p>
		 <p>板橋では、どんな野菜がとれるの？</p> <p>2 板橋区で採れた野菜が売られていたよ。どんな野菜かな？</p> <p>板橋区で最も多く生産されている野菜は大根</p> <p>こんな野菜も育てられているよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも ・落木 ・ブロッコリー ・さつまいも 	<p>2 板橋でどんな野菜をとれるか</p> <p>→最も多いのは大根</p>
		 <p>板橋には、どんな工場があるの？</p> <p>9 印刷や製本などの工場があるよ。板橋には工場がたくさんあるか知っている？</p> <p>印刷・製本、本をつくる工場</p> <p>機械をつくる工場</p> <p>建物、道路などをつくるために必要な鉄をつくる工場</p> <p>など</p>	<p>9 どんな工場があるか</p> <p>→印刷や製本など本をつくる工場、機会をつくる工場、鉄をつくる工場など、様々な工場があることを伝える</p>

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
		 <p>これ、どういう意味？</p> <p>10 元の国の人でも全然わからないって、こういう感じか。上の意味が何という意味か考えてみよう</p> <p>「Città del libro illustrato」イタリア語で「絵本のまち」という意味です</p> <p>日本語が読めない外国人の気持ち少しわかったかな？</p>	<p>10 Città del libro illustrato</p> <p>→イタリア語で「絵本のまち」という意味</p> <p>→日本語が読めない外国人や（教育の不平等や・格差などで）文字が読めない人の立場に立つてみることの意図を伝える</p>
		 <p>カワセミとアライグマ、外来種はどっち？</p> <p>14 外来種の魚を川に放すと、東京湾の生態系にも影響があるよ。カワセミとアライグマ、外来種はどっち？</p> <p>正解：アライグマが「外来種」</p> <p>カワセミは、日本に昔からいる「在来種」です。石神井川でも見られるよ</p>	<p>14 カワセミとアライグマ、外来種はどっち？</p> <p>→外来種はアライグマ。カワセミは石神井川でも観測される</p>
		 <p>ニリンソウを見つけれられたかな？</p> <p>15 毎年花見に来ているけど、この景色がずっと見られるといいな。近隣の里、ニリンソウの花を探してみよう</p>	<p>15 ニリンソウの絵を探そう</p> <p>→盤面の位置を示す</p>
01:00	10	<p>6) 「いたばしレンズシート」の記入</p>	<p>・各チームで1枚、「いたばしレンズシート」に「いたばしレンズ」マスで回答した内容を書く</p>
		 <p>「いたばしレンズシート」に書こう</p> <p>「いたばしレンズ」マスに止まった時に、どんなSDGsの内容を答えたかをチームで1枚記入しよう</p>	<p>「いたばしレンズ」マスに止まった時に、どんなSDGsの内容を答えたか「いたばしレンズシート」に記入してください。</p> <p>練習のときに答えたものでも良いです。</p> <p>チームで1枚記入します。みんなで協力して書いてみてください。</p>
01:10	5	<p>7) 「いたばしレンズシート」の内容を発表</p>	<p>・「いたばしレンズ」のマスでどんなSDGsの内容を答えたか、チームごとに発表する</p>
			<p>「いたばしレンズ」マスでどんなSDGsを見つけたか、クラスみんなに教えましょう。●チームから順に発表してください。</p>
01:15	10	<p>8) 「感想シート」の記入</p>	<p>・3つの学びの3つの目的を改めて紹介する</p> <p>・感想シートの設問を紹介して、記入時間を設ける</p>

総時間	分	スライド	指導内容／進行アナウンス例
			<p>最初に配った「感想シート」に感想などを書きましょう。</p> <p>ゲームを通して最初に説明したことができたかどうか考えてみてください。</p> <p>①板橋区がどんなまちか、まちの中にどんな取組があるかを知る</p> <p>②まちと SDGs がつながっていることを知る</p> <p>③自分以外の人の立場に立って、その人のことを考えてみる</p>
01:25	5	9) 「感想シート」の内容を 発表	・数人に「感想シート」の内容を発表してもらう
01:30	5	10) まとめ	・先生からの感想などを共有し、終わる

6) マス・アクションの内容解説

解説の読み方	
(ターゲット 1.1)	1つ目の数字は SDGs の 17 の目標。2つ目はその目標に紐づくターゲットの番号を示しています。ターゲットとは、各目標の達成に向けて焦点を当てる分野やその方向性を示すものです。 ¹ 合わせて 169 のターゲットがあります。
「いたばしさんぽ」 リーフレット	ゴールに関連する取組内容が紹介されている記事を示しています。 「いたばしさんぽ」リーフレットは区ホームページよりご覧ください。
関連情報	https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/seisaku/keiei/promotion/1025922/1050237/index.html

SDGs の ゴール	マスの内容／アクション	解説
1 	こども食堂で、いろんな人と 楽しくご飯を食べたよ！ みんなで「いただきます！」 のジェスチャーをする	背景： 子ども食堂は、無料／低価格で食事を提供する活動を行っています。区内では、55 か所ほどの団体が活動しています。 ゴールとのつながり： 子ども食堂の活動は、経済的に余裕がない人や弱い立場にいる人たちを減らすことにつながります。また、さまざまな背景を持つ人々が集まり、共に食事を楽しむことは、孤食の解消や、地域コミュニティの絆を強化にもつながります。 「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「関わる人それぞれの想いがつくるみんなの居場所：まいにちおいで子ども食堂」
1 	食べきれないものを必要な人 に提供するフードドライブに 寄付した。 「もったいない！」と思った ことを言う	背景： フードドライブとは、家庭で使いきれない食品や飲料を持ち寄り、フードバンクなどを通じ、広く地域の福祉団体や施設などに提供する活動です。 ゴールとのつながり： 各国の基準で、あらゆる面で「貧しい」とされる男性、女性、子どもの割合を少なくとも半分に減らすこと（ターゲット 1.2）が掲げられています。フードドライブへの参加は、食料不足に直面している人々への支援を行い、食糧アクセスの改善につながります。また、フードドライブには食品ロス削減の狙いもあり、ゴール 12「つくる責任・つかう責任」にもつながります。
2	板橋で採れた野菜が売られて いたよ。どんな野菜かな？ 板橋でどんな野菜が採れる	背景： 板橋区には約 120,000 平方メートルの農地と約 41 軒の販売をしている生産農家があります。（令和 4 年時点 ² ） ゴールとのつながり： 持続可能な食料生産の仕組みをつくり、何か起きてもすぐに回復できるような農業を行うこと（ターゲ

¹ 高木超「SDGs×自治体実践ガイドブック：現場で活かせる知識と手法」

² 板橋区「農業経営実態調査」結果：<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/nougyo/iinkai/1006578.html>

SDGs の ゴール	マスの内容／アクション	解説
	か、思いつくことを言う	ット 2.4) が掲げられています。地産地消は持続可能な食料生産につながります。 また、移動や輸送にエネルギーを使わなくて済むことから、気候変動対策（ゴール 13）にも貢献します。
	農業体験に参加したよ。野菜を育てるのが大変だけど、楽しいな。 大きな大根を抜くジェスチャーをする	背景： 区内には、農業体験ができる農地があります。 大根：板橋区で最も多く生産されている（作付面積がもっとも広い）野菜は大根。 ³ ゴールとのつながり： 持続可能な食料生産の仕組みをつくり、何か起きてもすぐに回復できるような農業を行うこと（ターゲット 2.4）が掲げられています。農業体験は、食料の自給自足、持続可能な農業方法への認識を高め、地元の食料生産と消費を促進します。 「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「都市農業と有機物で地域をつなぐ『HASUNE FARM』」
	いつか「板橋 City マラソン」に出て、42.195km 完走するんだ！ 好きなスポーツのジェスチャーをする	背景： 板橋 City マラソンは東京都内では、数少ないフルマラソンの日本陸連公認・世界陸連（WA）認証コースです。コースとなる荒川は、1924 年に荒川放水路として人工的に開削され、2024 年で通水 100 周年を迎えます。 ゴールとのつながり： 「予防」も重視されており、スポーツは地域における健康づくりの促進になります。
	ゲームをやめて、外で鬼ごっこを本気でやったら、すごく楽しかった！ 最近やった外遊びを言う	背景： 外遊びをすることで、児童の基礎体力や運動能力の向上が期待でき、健康維持に効果があると言われています。 ゴールとのつながり： 有害な化学物質や、大気・水・土壌の汚染が原因で起こる死亡や病気を大きく減らすこと（ターゲット 3.9）が掲げられています。子どもが外でのびのびと遊べて、健康であるためには、良い環境をつくり・維持していくことが必要です。
	美術館で絵本づくりのワークショップに参加したよ。 好きな色を言葉で説明しよう	背景： イタリア・ポローニャ国際絵本原画展の開催で知られる板橋区立美術館は、絵本作りのワークショップを幅広く実施しています。 ゴールとのつながり： 日本では学校で文字を読む教育を受けられますが、世界では識字率は必ずしも 100%ではありません。道路の標識、お店のメニューも、文字が読めなければ理解することができません。
	ポローニャ絵本館で、同じ絵	背景： いたばしポローニャ絵本館は、世界 100 以上の国と地域、

³ 板橋区「いたばし農業の変遷」：<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/shiryo/koubunsho/ichiran/1009236.html>

SDGsのゴール	マスの内容／アクション	解説
	<p>本の日本語版と外国語版を見比べたよ。</p> <p>日本語・英語以外の言語で「ありがとう」を言う</p>	<p>70 言語以上、合計 3 万冊超の絵本という、都内でも有数の絵本の蔵書数を誇ります。同じ絵本で日本語と外国版の両方がある絵本も多くあり、外国語教育にも活かされています。</p> <p>ゴールとのつながり：持続可能な社会をつくるために、世界市民としての意識、さまざまな文化があることなどを理解できる教育をすすめること（ターゲット 4.7）が掲げられています。他の言語の絵本に触れることで、多文化への理解の促進につながります。</p>
<p>5</p> 	<p>みんなにはクールだと思われているけど、本当はかわいいものが好き。</p> <p>口笛を吹く</p>	<p>背景：性別に捉われず、多様な性のあり方を踏まえ、誰もが性別に縛られない個性を持っていることを伝えていきます。</p> <p>ゴールとのつながり：性別にかかわらず、誰もが平等に権利をもっていることが掲げられています。</p>
<p>5</p> 	<p>おばあちゃんに「あなたは何にでもなれるわね。」とよく言われるよ。</p> <p>将来の夢を言う</p>	<p>背景：性別によって職業が差別されないことが大切であると伝えていきます。</p> <p>ゴールとのつながり：政治、経済や社会で決定する場面で、女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにすること（ターゲット 5.5）が掲げられています。（例：日本は諸外国と比べ、女性の国会議員の割合が圧倒的に低く、164 位／2023 年 1 月時点⁴）</p>
<p>6</p> 	<p>雨水を貯めて、家庭菜園の水やりに使ったよ！</p> <p>水の無駄を減らすために心がけていることを言う</p>	<p>背景：世界には、水道の設備がない暮らしをしている人は 22 億人以上います。⁵</p> <p>ゴールとのつながり：2030 年までに、水不足で苦しむ人の数を大きく減らすこと（ターゲット 6.4）が掲げられています。水は限りある資源であるため、無駄遣いはやめて大切にしようというメッセージが込められています。</p>
<p>6</p> 	<p>ウォーターサーバーでマイボトルに水を入れたよ。</p> <p>みんなでウイנקをする</p>	<p>背景：日常的なマイボトルの使用促進のため、自由に利用できるウォーターサーバーを区施設 15 か所に設置しています。</p> <p>ゴールとのつながり：世界には安全な飲料水を簡単に手に入れない人がいます。「飲み水」を通じて持続可能な水利用について考えるきっかけになります。</p> <p>また、石油由来のペットボトルの使用を減らすことは、資源を大切に使うという視点からゴール 12、気候変動対策という視点からゴール 13 ともつながっています。</p>

⁴ 日本ユニセフ協会：SDGs CLUB より（出典：UN WOMEN “Women in Politics: 2023”）

⁵ 日本ユニセフ協会：SDGs CLUB より（出典：UNICEF “Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2022: Special focus on gender”）

SDGs の ゴール	マスの内容／アクション	解説
<p>7</p> 	<p>緑のカーテンを育てると、家 の中が少し涼しくなったよ。 育てたことのある植物を言う</p>	<p>背景：「緑のカーテン」は、“へちま”や“ゴーヤー”などのつる性の植物を窓の外に茂らせた植物のカーテンです。室温の上昇を抑えることで、冷房の使用抑制による省エネルギー効果、建物に熱を蓄積させないことによるヒートアイランド現象緩和の効果が期待できます。板橋区では、区役所、小中学校、保育園での普及を啓発しています。</p> <p>ゴールとのつながり：2030年までに、今までの倍の速さで、エネルギー効率をよくしていくこと（ターゲット 7.3）が掲げられています。緑のカーテンは、空調の効果を高め、消費電力をおさえるという省エネ効果があります。</p> <p>「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「いたばしのまちのみんなのSDGs」</p>
<p>7</p> 	<p>熱帯環境植物館はゴミ焼却の 熱で、温室を作っているんだ って！ ゴミの分別の種類を3つ言う</p>	<p>背景：熱帯環境植物館は、板橋清掃工場の余熱を利用して東南アジアの熱帯雨林を立体的に再現した省エネルギー型の施設です。</p> <p>ゴールとのつながり：2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーなど、を使う方法の割合を大きく増やすこと（ターゲット 7.2）が掲げられています。余熱の有効活用は、資源（とくに有限で二酸化炭素を多く排出するもの）の新たに使用を減らします。</p> <p>「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「いたばしのまちのみんなのSDGs」</p>
<p>8</p> 	<p>地域のボランティアに、絵本 を読み聞かせてもらったよ！ 声を出さずに、唇の動きだけ で言葉を伝える</p>	<p>背景：絵本の読み聞かせボランティアの取組は、世代間交流を促進し、シニアの社会参加と活動の場を提供します。</p> <p>ゴールとのつながり：ボランティア活動は直接的には雇用を創出しないかもしれませんが、教育や文化の振興を通じて、長期的には新たな雇用機会の創出や経済活動の多様化に貢献する可能性があります。</p>
<p>8</p> 	<p>こんなの見たことない！って いう絵が売っていた。すごい インパクト。 思いっきり「びっくり！」の 顔をする</p>	<p>背景：無印良品板橋南町 22 にて販売された障がい者アートのことを指しています。小茂根福祉園とのコラボにより、「個性」を活かした商品販売に取り組んでいます。</p> <p>ゴールとのつながり：知的に障がいのある人の福祉施設「小茂根福祉園」では、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、雇用によらない就労の機会を提供し、商品の生産活動を行っています。</p> <p>「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「応援の力で個性がきらいと光る無印良品板橋南町 22 と小茂根福祉園のコラボ」</p>
<p>9</p>	<p>板橋には工場がたくさん。ど</p>	<p>背景：板橋区は近代工業の発祥地であり、区内には、印刷や製本など、本を作ることに関わる工場がたくさんあります。ほか</p>

SDGsのゴール	マスの内容／アクション	解説
 9	<p>んな工場があるか知ってる？</p> <p>板橋にどんな工場があるか、思いつくことを言う</p>	<p>にも光学・精密などの機械工学、化学工学、鉄鋼業などの工場が集積しています。</p> <p>ゴールとのつながり：多様な産業が技術革新と持続可能な産業化を推進し、強靱なインフラの構築と経済成長に貢献します。</p>
 9	<p>パソコンを使って、プログラミング学習。将来はエンジニアに！</p> <p>将来、あったらいいなと思うものを言う</p>	<p>背景：一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、教育ICT環境の実現に取り組んでいるとともに、プログラミング教育に力を入れています。</p> <p>ゴールとのつながり：技術革新を促し、将来のエンジニアを育成することで、持続可能な産業化と経済成長に寄与します。また、新たな技術やアイデアの創出により、強靱なインフラ構築と産業の進化を支えます。</p>
 10	<p>点字ブロックの上に置いてある自転車を動かしたよ。</p> <p>目を閉じて、サイコロを見つける</p>	<p>背景：点字ブロックの上にもものがあると、視覚障害のある人が安全に移動する妨げになります。</p> <p>ゴールとのつながり：2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず、すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないように進めることが掲げられています。</p>
 10	<p>「Città del libro illustrato」全然わからないって、こういう感じか。</p> <p>↑の言葉（「Città del libro illustrato」）が何という意味か考えて言う</p>	<p>背景：イタリア語で「絵本のまち」という意味。板橋区は、国際的な絵本原画展が毎年開催されている友好都市、イタリア・ポローニャ市との交流や、印刷産業が多く立地するといった地域特性から、「絵本のまち板橋」の推進に取り組んでいます。</p> <p>ゴールとのつながり：外国から日本へやってきた人など、全く読めない言語を目にする人の気持ちになってみることを意図としています。</p> <p>「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「『いたばしさんぽ』一言コラム」</p>
 11	<p>みんなが遊びやすいように、公園のごみを拾って帰ったよ。</p> <p>最近、みんなのためにやったことを言う</p>	<p>背景：児童に身近な公共スペースである「公園」を例としました。</p> <p>ゴールとのつながり：だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにすることが掲げられています（ターゲット 11.7）</p>
 11	<p>大きい地震が起きたらどうする？家族で話し合ったよ。</p> <p>「地震が起きたときにすぐやることを言う</p>	<p>背景：災害が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや避難方法、連絡方法などを決めておく、といった日頃の防災意識は、災害リスク低減に効果があります。</p> <p>ゴールとのつながり：水害などの災害によって命を失う人や被害を受ける人の数を大きく減らし、世界の国内総生産（GDP）に対して災害が直接もたらす経済的な損害を大きく減らすことが掲げられています。（ターゲット 11.5）家族での大地震対</p>

SDGsの ゴール	マスの内容／アクション	解説
		策の話し合いと防災訓練の実施は、災害時のリスクを削減することにつながります。
<p>12</p> 	<p>絵本を古本市で売った。買った子が大切にしてくれるといいな！</p> <p>好きな絵本のタイトルを言う</p>	<p>背景：板橋区民まつりなど、区内では古本市が開催されており、絵本のリユース・販売も実施されています。</p> <p>ゴールとのつながり：絵本を古本市で売るとは、リユースを促進し、資源の有効活用につながり、持続可能な消費と生産を後押しします。また、物の再利用により廃棄物の削減に繋がり、資源の節約と環境保護に役立ちます。</p>
<p>12</p> 	<p>洗い直したり染め直したリユースの服を買ったよ。</p> <p>再利用（リユース）したことを言う</p>	<p>背景：無印良品では、服を回収し、商品をアップサイクルし衣料品として再生（リユース）するか、着ることができない商品は服など商品の原料として再生（リサイクル）しています。板橋南町 22 店では、衣類に限らず、さまざまな商品の資源回収ステーションが設けられています。</p> <p>ゴールとのつながり：廃棄物の発生を、予防、削減、再生利用や再利用により大幅に減らす（ターゲット 11.5）</p>
<p>13</p> 	<p>台風接近中！長期保存が可能な「防災スナック」で備えは万全。</p> <p>思いつく非常食を言う</p>	<p>背景：スナックメーカー「湖池屋」は、日常生活で消費しながら備蓄する、ローリングストックとしてスナック菓子を展開。板橋区と湖池屋が協力し、「防災スナック」などを取り入れた災害時への備えを普及啓発しています。</p> <p>ゴールとのつながり：台風のような気候変動に起因する自然災害に備えることは、災害リスクの軽減と気候変動の影響への適応能力を高めること（ターゲット 13.1）が掲げられており、非常食の準備は、気候変動による緊急事態への備えを強化すること寄与します。</p> <p>「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「いたばしのまちのみんなの SDGs」</p>
<p>13</p> 	<p>たくさんの生き物が集まるビオトープを育て、緑を増やしたよ。</p> <p>生き物のイラストを3つ探してみよう</p>	<p>背景：板橋区立小学校の中には、ビオトープを学校の敷地内に設置し、児童が主体的に生き物の観察や保全活動を実施する環境教育に取り組んでいる学校もあります。</p> <p>ゴールとのつながり：ビオトープを育てて緑を増やす取組は、生物多様性の保全と地域の緑化を促進し、CO2 吸収源の拡大によって気候変動の緩和につながります。</p>
<p>14</p> 	<p>外来種の魚を川に放すと、東京湾の生態系にも影響があるよ。</p> <p>カワセミとアライグマ、外来種はどっち？</p>	<p>背景：外来種は生態系のバランスを崩し、在来種の生存を脅かすことで、生態系に悪影響があります。川の生態系が崩れると、川の下流にも影響があり、その影響は海にも影響があります。アクションの答えとしては、アライグマが外来種です。カワセミは在来種であり、石神井川で見られる鳥です。</p> <p>ゴールとのつながり：健全で生産的な海を実現できるように、海と沿岸の生態系を回復させるための取り組みをおこなうこ</p>

SDGsのゴール	マスの内容／アクション	解説
		とが掲げられています（ターゲット 14.2）。
14 	石神井川から海へごみが流れないように、持ち帰ったよ。 好きな海の生き物を言う	背景： 目標 14 は、海に面していない板橋区では関係ないと思われるがちですが、河川的环境保全是海にも影響があります。 ゴールとのつながり： 2025 年までに、海洋ごみや富栄養化※など、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らすことが掲げられています（ターゲット 14.1）。河川のごみを清掃することは、海洋汚染を防ぎ、海洋生態系の保護と生物多様性の維持に直接貢献します。
15 	毎年花見に来ているけど、この景色がずっと見られるといいな。 板橋区の花、ニリンソウの絵を探してみよう	背景： 石神井川沿いの桜並木に関するマスです。毎年美しい姿を見せてくれる桜ですが、実は老朽化が進んでいます。この景色を維持するには、一人ひとりが考え行動する必要があります。 ゴールとのつながり： あらゆる緑の保全と生物多様性の維持がゴール全体で掲げられています。桜並木の保全は、都市における限られた緑の保全につながります。 「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「いたばしのまちのみんなの SDGs」
15 	こども動物クラブで、動物の世話を体験。生き物ってすごい！ 好きな動物の鳴きまねをする	背景： こども動物クラブでは、生き物の多様性を体感する環境教育の場として、動物の世話やエサづくりを実際に体験できます。 ゴールとのつながり： 子どもたちに生物多様性の重要性を教え、生き物への尊重と保護の意識を育むことで、陸上生態系の保護と持続可能な利用に向けた教育の一環となります。 「いたばしさんぽ」リーフレット関連情報： 情報面（裏表紙-P.16）：「いたばしのまちのみんなの SDGs」
16 	みんなで冗談を言って笑ったけれど、あの子はいやだったかな。 みんなで手をつないでウェーブをする	ゴールとのつながり： 言葉をはじめ、あらゆる形の暴力を大きく減らし（16.1）、すべての人が尊重され、安心して参加できる環境をつくることが掲げられています。集団において冗談が全員にとって楽しいものでなかった場合、それに気づき、考慮する態度は、包摂性、相互尊重、公正を促進する行動と言えます。
16 	ひいおばあちゃんに戦争の話聞いた。戦争は絶対にいやだ。 しずかに首をふる	ゴールとのつながり： 戦争の話を知る体験は、過去の（そして現在も世界で続く）衝突から学び、平和の重要性を認識することにつながります。戦争体験者が年々減っていく中、平和で構成的な社会を築く上では、大切な学びです。
17	このクラスは一致団結したらすごいぞ！	ゴールとのつながり： SDGs の 1～16 のゴールを実現するためには、国際的な協力・連携が必要不可欠であり、ゴール 17 では

SDGs の ゴール	マスの内容／アクション	解説
	<p>みんなで協力した思い出を話して、ハイタッチする</p>	<p>全ての人が協力しあうことを掲げています。共通の目標に向かって協力する姿勢は、クラス、地域、さらには国際レベルでの課題解決においても重要であり、SDGs の達成に向けて大切な姿勢です。</p>
<p>17</p> 	<p>新しい友達ができたら、「いたばしさんぽ」で遊んでみよう！</p> <p>みんなで指を1本ずつ使って、サイコロを持ち上げる</p>	
<p>17</p> 	<p>お祭りで大人たちが協力して頑張っていた。かっこいいと思った。</p> <p>目が合っている人たちのイラストを1組探してみよう</p>	
<p>いたばし レンズ</p>	<p>学校の中にある「SDG s」を見つけて言おう</p> <p>その内容は SDGs の何番のゴールかな？ポイントシートに✓しよう</p>	<p>いたばしレンズマスは、身近な SDGs を児童自らが探し、関連する SDGs のゴールを考え、答えるマスです。ゴールの番号がわからない場合は、「あそびかたブック」4ページの「SDGs17のゴール一覧」を参照するよう、促してください。</p> <p>ゴールとのつながり：チーム全員で考えることを促しているため、ゴール 17 パートナーシップの協働の姿勢を取り入れています。</p>
<p>いたばし レンズ</p>	<p>これまでに授業で学んだ「SDG s」を見つけて言おう</p> <p>その内容は SDGs の何番のゴールかな？ポイントシートに✓しよう</p>	
<p>いたばし レンズ</p>	<p>普段やっていることの中にある「SDGs」を見つけて言おう</p> <p>その内容は SDGs の何番のゴールかな？ポイントシートに✓しよう</p>	

7) 「いたばしレンズ」シート・感想シートの活用方法

「いたばしレンズ」シート

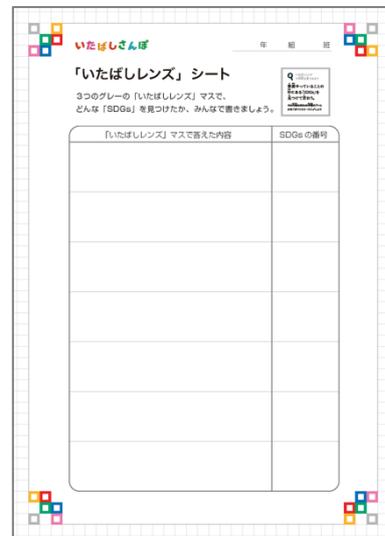
目的：

「いたばしレンズ」マスで答えた SDGs の内容を記載し、身近な SDGs について振り返るためのシートです。身近な生活が、どのように SDGs のゴールとつながっているかを、チーム内で話し合い、言語化します。

活用方法：

ゲームの本番中は回答したことを忘れないようにメモします。

ゲーム後にチーム内で振り返りながら、補足を追記し、清書していきます。



感想シート

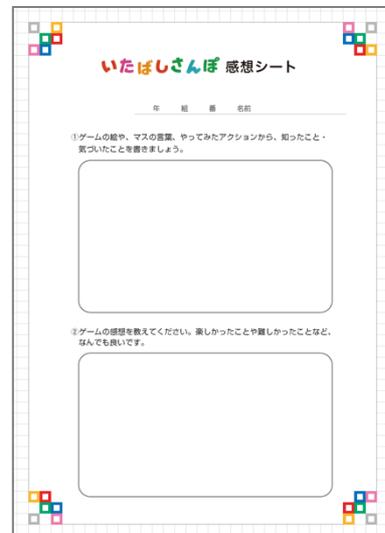
目的：

ゲーム終了後に感想を書いてもらうことで、児童の SDGs の知識やゲームを通しての学びを記録することができます。

活用方法：

ゲーム後、個人の振り返りの際に配布し、各自記入します。

*シートが複数あるため、記入する際に配布することを推奨します。



シートは板橋区ホームページから：

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/seisakukeiei/promotion/1025922/1050237/1050999.html>



8) 「いたばしさんぽ」SDGs の学習をカスタマイズする方法

写真等を活用した「いたばしレンズ」マスのカスタマイズ

「いたばしさんぽ」の「いたばしレンズ」マスの設問を変えることで、それぞれの授業にあった内容とすることが可能です。

■ 「いたばしレンズ」マスに止まった時に、写真から「SDGs」を見つけるワーク

写真の例：学校内外、まちの写真、テーマとしたいSDGsが写っている写真等



[見つけられる SDGs の例]

- ・ 歩道、横断歩道：ゴール 11
住み続けられるまちづくり
- ・ 牛乳パック回収箱：ゴール 12
つくる責任、つかう責任
- ・ 緑：ゴール 15 陸の豊かさも
守ろう



[見つけられる SDGs の例]

- ・ 電柱、手すり：ゴール 11
住み続けられるまちづくり
- ・ 手すり：ゴール 3
すべての人に健康と福祉を

マスの内容のカスタマイズ

付箋等をマスのサイズに合わせてカットし、児童が考えたテキストを書き込んで貼り付け、ゲームをすることも可能です。自分が考えたり学んだりした内容を楽しく他の人に伝えることができます。

9) 「いたばしさんぽ」遊び方のアレンジ例

クラス全体で遊ぶ場合 | 班内 2チーム対抗戦 (授業内など)

- ・ 4～5人の班に分かれ、班内の2チーム（1チームあたり2～3人）で対戦する
- ・ 1班につき、ゲームは1セット、ポイントシートは2枚準備する
- ・ 同じチームのメンバーは、コマを同じ位置に動かす
- ・ 勝ち：各班内の1チーム（班の数だけ勝つチームがいる）

個人戦

- ・ ゲームは1セット、ひとり1枚ポイントシートを用意する
- ・ 順番にサイコロを振って、だれが先にポイントシートを埋められるかを競う
- ・ 時間を決めて、ポイント制で競う。3つの「✓」が、タテ・ヨコ・ななめにそろったら、1ポイント。（2～3人：15～20分、4～5人：20～25分程度がおすすめ）

「いたばしさんぽ」教員向けガイド
～授業で活用するためのヒント～

2024年3月

発行 板橋区 政策経営部 ブランド戦略担当課

絵 三浦太郎

デザイン 株式会社 10

監修 高木超（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教）

協力 板橋区立美術館・板橋区立緑小学校・板橋区立志村小学校

企画・作成 株式会社石塚計画デザイン事務所